

広報



# しうら

村の世帯と人口

(8月1日現在)

世帯数	1,082
人口	4,679
男	2,311
女	2,368



9 上旬号  
No.71

—岩井放牧場附近で写す—

草喰(は)む馬のたたまいにも、秋の気配が濃くなってきた。

○いなく馬のたてがみに吹く風も、どことなく秋の気配がたたまってきた。

○：戦時中は軍馬に戦後は農耕用にと、もてはやされた馬も農業の機械化に押され、いま村内には八頭しか飼われていない。

○活躍の舞台を失ない心なしかさみしい影をひきずりながら、無心に草喰(は)む馬の背に初秋の日差しがやわらかい。

○：朝夕はひんやりした風が吹き、虫の聲がしげくなるにつれて秋もしだいに深まってゆく。

初秋のまじり馬

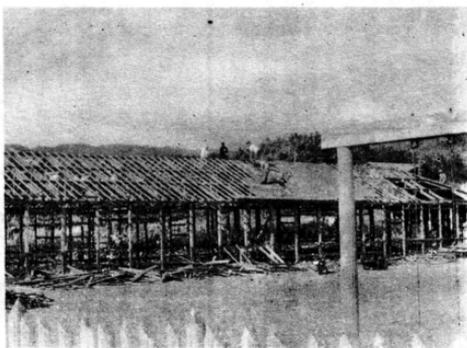
# 小型動力ポンプを配置

## 第四分団(太田地区)に

消防団第四分団(太田)に可搬式小型動力ポンプが配置されました。これは、いままでも使われていたポンプが老朽化したので、村が六十八万五千円で購入したものです。配置された動力ポンプは五五馬力で、毎分一、五〇〇リターの放水ができるほか、マイナス二〇度の低温でも始動する高性能をもっています。また、九九キロと軽いので持ち運びが便利で好評です。



性能のよい可搬式小型ポンプ



解体作業が進められている脇小旧校舎

# 解体される脇小旧校舎

かずかずの思い出のこして、

脇元小学校旧校舎の解体作業が進められています。

同校は明治九年の創立ですが、木造のため老朽化がひどく、鉄筋二階建ての新校舎が完成したのに伴ない、解体されることになりました。北側校舎の解体が進められていますがこれは農協の山菜処理加工施設と

# 泰平一家



# 生活保護や社会福祉関係の援助をうけるには



問 生活保護など社会福祉関係の援助をうけるにはどうしたらよいか、お知らせください。現在、妻は病気で子どもが四人います。(十三地区・T生)

答 一生懸命働いても、自分の力だけではくたないときは、病気で医者代が払えないときは、国が生活を保障することになっています。このようなときは、民生委員をおし福祉事務所が役場へご相談ください。福祉事務所ではよく調べたりえて生活保護に該当するときは扶助します。家庭の秘密を守って、親切に相談に応じます。このほか福祉事務所では、老人や身体障害者精神薄弱者、児童、母子家庭の問題についても相談に応じます。



# こくみんねんきん

## 保険料の免除は損です

### 早めに追納しましょう

今はかけ金をさちらさちんと納めているけど、むかしのかけ金を免除してもらったはいませんか。いざ年金をうけるとき、免除をうけた分だけ年金が少なくなりまうから注意が肝心です。

国民年金では、生活が苦しくてかけ金を納めることができない人はその間のかけ金を免除する仕組みがとられておられます。そして、その免除をうけた分はあとでさかのぼって納めることができます。これを

「追納」と言います。

この追納は十年前までさかのぼってできますが、十年を過ぎた分は納められなくなります。免除をうけたままにしておきまうと、年金額が3分の1になり、将来くらしに困る事にもなりますので、生活に少しでも余裕がでないまうら追納し高き年金がうけられるようにしていただきます。追納するときは、納付書があまりすすからそれで銀行か郵便局に払い込んでください。



二生おめでと  
工藤利恵(太田) 春男

# 社教シリーズ

⑨

婦人は「通常々」結婚りや職業をもつ人として、やがて、子どもを生み、育て、家事をとのえるなど家庭生活を中心としてその役割を果たして来た。これを婦人の役割きたという 観点からみる

## 婦人は社会生活の充実に

と、主婦であることおよび母親であることという二つの役割を果たして来たことになる。事実、それが多くの婦人の生活であった。しかしながら、近時の急激な社会変動によって、婦人は、単に主婦や母親としての役割をもつだけでなく、参政権をもつ市民としての役割をもち、

「追納」を言います。この追納は十年前までさかのぼってできますが、十年を過ぎた分は納められなくなります。免除をうけたままにしておきまうと、年金額が3分の1になり、将来くらしに困る事にもなりますので、生活に少しでも余裕がでないまうら追納し高き年金がうけられるようにしていただきます。追納するときは、納付書があまりすすからそれで銀行か郵便局に払い込んでください。

スタント食品が普及し減されてきた。これらに伴ない、主婦の余暇がふえ、就労する婦人の数が増加した。いや、それだけではない。婦人が家庭生活を考えてみて、過去の生活から社会生活へと急変に拡がっていったのである。また、日常の家庭生活も大きく変つてきている。少子家族、核家族化といわれるように、多くの家庭が小人数の家庭になつてきている。衣・食・住の消費器具、既製品、電気

経験や知識の蓄積だけに頼つてはなじゆうぶんなのであつて、新たな消費生活の問題、人間性回復の場としての家庭生活のあり方の問題、教育の問題等に関する理解と関心をもちたいかき、通常の家庭生活を送るこ自体がむすしく

なつてきているのである。このような婦人の生活の変化によつて婦人の生活は家庭生活から社会生活へと拡がると、婦人は、家庭生活として、母親としての役割をもち、社会生活では、市民として、職業人としての役割をもつようになつてきたのである。以上のような情勢の変化を背景として、婦人自身のなかに、その生活を充実させたいというところから、当然学習の意欲が起つてくるのではないかと思ひます。

- 白川欽靖(十三) 一則
- 小山内珍治(十三) 孝作
- 伊南忠彦(磯松) 政幸
- 山内理恵子(相内) 守栄
- いつまでもおしあわせに

○：いよいよ新涼の秋を迎えました。あの暑さのひびがたつた八月とまたしれば、朝夕はなんともたしのぎやすくなつたことか、空模様はまだ落ちつかないとはいへ、雲のゆきかいかや草木のたたりすまいは、日ましに秋の気配が濃くなつてきて、仕事の能率もぐんとあがつてきました。

○：兼尼にさらつとした風をうけて、秋の夜長をたのしむ、きょうこのごろです。夜の長いのはもちろん冬至(十二月二十日)ですが、夏の短夜(みじか)のはめつきり長くなつたことに気がつきます。

○：だいお更(ふ)けたなぞと思つて時計をみるとまだよいの口だつたりと子どもさんのいる家庭では二学期が始まるとばかりです。いつまでも夏休みの思い出はなしをしていわけいはいません。しのぎよくなつたこの季節に、やつとおかなければならない仕事はどんだん片づけておきたいものです。



# 季節のふし

- (佐々木一起(青) 内森)
- (斎藤 麗子(相) 泊元)
- (斎藤 文保(小) 泊元)
- (升田 安子(小) 業松)
- (木村 辰三(磯) 業松)
- (諸岡ひとみ(千) 業松)
- (青山 孝一(中) 里元)
- (成田 孝子(中) 里元)
- (中居 松男(十) 力三)
- (成田真知子(車) 力三)
- (宮崎 潤一(相) 内阪)
- (小寺美佐子(大) 内阪)
- (秋田 谷明(桂) 里川)
- (大阪千賀子(中) 里川)
- (古川 芳夫(太) 元田)
- (白川 房子(脇) 元田)
- おくやみ申し上げます
- 小倉誠太郎(十三) 63才
- 三和千代吉(相内) 76才
- 斎藤正太郎(脇元) 39才
- 小寺サナ(脇元) 90才